



「信じる力」を持つために

校長 富士 健一

「みんなのことを信じられるの？」

今から 20 年前の 10 月、本校出身の二中ブラスバンド部生徒が 1・2 年部員に向かって問いかけた言葉。人間関係の難しさを抱え続けていた部の正顧問を任せ、日替わりで部員の個別相談に乗っていた 35 才の私は、楽器棚に置いた個人ノートに悪意ある落書きをされた生徒からの訴えを受け、直ちに舞台出演直前練習をストップさせて 1 週間連続部内ミーティングを行いました。「私のために大切な練習時間を削って真剣に考えてくれるみんなはいい人。でも、この中にいい人ぶって心の中で人を貶める人が一人でもいると思うと耐えられない。みんなはみんなのことを信じられるの？」被害者本人からの言葉に、口を閉ざす生徒や表面的発言の生徒も心を動かされ、部内に蔓延する悪い体質とそれに伴う不安や不満を、先輩後輩の垣根を越えて涙ながらに語っていきました。そしてミーティング最終日、最後にキャプテンが「犯人捜しをしても意味がないし、お互いを疑い続けて欲しくない。私たちはここに音楽をしに来ているのであって、傷つけ合いに来ているわけじゃない。低レベルなまま同じ過ちを繰り返すのはもうたくさん。信頼と情熱の心を持って本音と本気で人と音楽と真剣に向き合い、心から信じ合える部にする、この先ずっとみんなが幸せでいられる場所にするを今ここで誓います。だから先生、私たちを信じて楽器を持たせて下さい。」と締め括りました。その日を境に、パートナーである楽器と思いを伝える個人ノート、語り合うミーティングを拠り所に様々な改革と厳しい練習に耐え続け、夏の県大会 30 名編成 B 部門で 21 年ぶりの金賞を獲得。

「Colors (カラーズ)」と名乗った次のチームは、運動部も一目置くハードで挑戦的な活動を展開し、夏の県大会 50 名編成 A 部門初出場で金賞。県代表は逃したものの、創部初となる定期演奏会を開催。「人と人とが傷つけ合う場所から信じ合える場所に変える」という私と全部員の強い思いにより、技術面・精神面・態度面が飛躍的に向上し、県内吹奏楽界に旋風を巻き起こし喝采を浴びるチームへと急成長を遂げました。

この時の経験から私は、子供たちが学校生活を通して「信じる力」を持つために、常に子供の可能性を「信じる」こと、子供同士を「信じ合わせる」ことに力を注ぎ、子供たちの拠り所になるものを示して、心の内を書いたり本音を語ったり聞いたりできる場や機会を与えることが必要だと実感しました。そして、教師自らが語る言葉によって子供たち自身に幸せな未来を「起こし・担い・築く」意欲を持たせること、教師自らが子供たちの心の声を感じ取って正しく導くことが、教師として重要な責務だと考えるようになりました。

ところで、先月沖縄で行われたバスケットボールのワールドカップで男子日本代表チームが、史上初の 3 勝でパリ五輪への出場権を自力獲得しました。同一リーグ内で、世界ランキング上位の強豪ドイツとオーストラリアに敗北して決勝トーナメントには進めなかったものの、フィンランド、ベネズエラ、カーボベルデとの 3 試合全てを大逆転で勝利しての奇跡的快挙でした。男子日本代表チームを率いたヘッドコーチのトム・ホーバス氏は、選手に対して、常に「信じる力」という言葉を投げかけていたそうです。どの国よりもたくさん練習した自分たちの力を信じる、必ず逆転することを信じる、五輪出場権を獲得することを信じる…。

「信じる力」というホーバス氏の言葉がチームに浸透するに連れ、キャプテンの富樫選手以下、代表選手一人一人の自信とチーム全体の結束が高まり、奇跡を現実のものにできたのです。帰国後の記者会見でホーバス氏は、「チームのみんなは本当に素晴らしいが、彼らはもっともっとできる。期待してください。」と語りました。「もっともっとできる」という言葉を通して、「ここで終りじゃない、これ以上を目指せ。壁を越えて頂点を取るんだ。日本バスケットボール界の幸せな未来のために、誇りと自信を持って、もっともっとできるあなたたちであることを私は信じる。」と最大のエールを送っているように思えました。

さて、本校では 2 学期に入ってから、「責任を持って自分の仕事や役割、課題を最後までやり切る」「誰よりも早く静かに朝読書やそうじに取りかかる」「苦手なことにも目標を持って一生懸命取り組む」…そんな素敵な「声」を聞く反面、「してはいけないことをやって苦手なことを隠そうとする」「思い通りに行かないとだだをこねる」「相手を傷つけたのに素直に謝れない」…そんな気になる「声」も聞こえてきます。

くちなたっこぜんいんにききます。「いまのあなたは、みんなのことをしんじられますか？ みんなからしんじてもらえますか？ そして、しんじるころをもとうとしていますか？」

.....「信じる」 作詩：谷川俊太郎.....
 笑うときには大口あけて おこるときには本気でおこる
 自分にうそがつけない私 そんな私を私は信じる 信じることに理由はいらない
 地雷をふんで足をなくした子どもの写真 目をそらさず だまって涙を流したあなた
 そんなあなたを私は信じる 信じることでよみがえるいのち
 葉末の露 (はずえのつゆ) がきらめく朝に 何をみつめる小鹿のひとみ
 すべてのものが日々新しい そんな世界を私は信じる 信じることは生きるみなもと



＜教職員の声＞ 10月は三宅 潤耶（みやけ じゅんや）先生のコーナーです。

【 継続は力なり 】

体育大会が終わり、秋の涼しさを感じられる日が多くなってきました。その中で、高学年は10月4日に小浜市小学校陸上記録会が予定されています。

私は小学校から陸上競技を始めました。きっかけは走ることが好きだったこと、仲のいい友達が小浜ジュニア陸上クラブ（OJAC）に入ろうと、さそってくれたことです。OJACは日曜日に口名田の陸上競技場で練習をしているので、知っている人も多いかもしれませんがね。そのおかげで、私は小学校の代表として市の陸上記録会に出場しました。3年間で100m走、走り幅跳び、長距離走、リレーなど、たくさんの種目に出たことを覚えています。そして、中学、高校、大学でも陸上部に入り、長距離種目に取り組みました。先生になってからも駅伝やマラソン大会に出場し、気づけば陸上を続けて20年以上経っていました。そんな私には特技があります。それは、「やると決めたことは簡単にあきらめない」ということです。長距離の練習をしていると、もう走れないと思うときがたくさんありましたが、クラブや部活の仲間と共に乗り越え、自然とあきらめない力がつきました。



「継続は力なり」という言葉があるように、何事も続けることで成果が得られます。逆に簡単にできてしまったことにはそこまで喜びを感じないと思います。そして、このことわざにはもう一つ意味があります。それは、「諦めずに取り組むこと、それは自身が持つ能力の一つでもある」ということです。継続することは、想像以上につらく、毎日毎日、続けるという作業は、大変な困難を伴います。だから、何か一つでも続けられていることがあるなら、それはあなたの素晴らしい能力だということです。「毎日忘れずに宿題をすること」、「朝起きたら元気にあいさつをすること」、「好きなことに一生懸命取り組むこと」みなさんにも始められることはたくさんあります。これから先、長く続けて取り組みたいと思うことを先生と一緒にぜひ探しましょう！

＜わたしのこえ＞ ～9月号返信より～

- 気づくって言うことはたいせつだと思いました。
- 習った漢字は全て書くことをがんばりました。
- やってみたいのは1キロ走ることです。
- ならっているピアノをこれからもがんばってつづけています。
- ほぼ、毎日せたく物ものを抱ましたりたんだりしてお手伝いをがんばりました。
- たんじょう日にたくさんプレゼントをもらえてうれしかったです。
- 夏休み中、学童に行っていて、久しぶりにみんなに会うと、えがおで元気そうみんながいて、心が温かくなりました。
- 学童でーりん車をがんばりました。ほぼ毎日練習していたら、校庭を1周できるようになったのでうれしかったです。
- ネギのふせかえが楽しみです。やたべは道が長いけど自宅ん車でがんばります。
- つくえの中を毎日せいとんして、きれいになるようにがんばりたいです。
- 読書感想文に入選してうれしかったです。来年はもっといい賞に入りたいです。
- おばあちゃんの家に行ったらいとこがいて、わたしが部屋に入ったらすぐ「いっしょに遊ぼう」と言ってきてくれてうれしかったです。
- 野球のし合いや練習、ベースランニング10周走るのをがんばりました。
- ときょうそうでまがはけど、きょうぎのぶでゆうしょうしてうれしかったです。
- うれしかった体育大会練習は100m走で、理由は1位になったからです。体育大会もがんばって1位になりたいです。
- 今年つよきがあるのがうれしいです。みんな力を合わせてがんばりたいです。
- おうえん練習の時、先生に「声が大きいね」と言われたのがうれしかったので、またがんばろうと思いました。
- おうえん練習のダンスで「うまいね」と言われて心が温かくなりました。
- 初めておどる1年生によさこいを教えました。サビの所ができるようになった時、私まで嬉しくなり、つい、ハイタッチしてしまいました。
- 運動会の練習で1年生が真剣に練習してくれるので、教える方も嬉しくなりました。



－10月の行事予定－

- 1日(日) 口名田地区民体育大会 AM
～よさこい出演(4～6年)
- 2日(月) 学校だより発行日
～3日(火) PTA登校指導
- 4日(水) 市陸上記録会(予備日5日)
- 6日(金) 芸術鑑賞① セントラル愛知交響楽団
ミニコンサート、ワークショップ
修学旅行保護者説明会 19:00～
- 7日(土) 口名田保育園運動会 AM
- 9日(月・祝) スポーツの日
- 10日(火) 制服登下校再開
- 11日(水) クラブ
- 12日(木) 学校公開日(2～3限)
就学時健康診断(午後)
- 13日(金) 若狭図書館学習センター見学(1,2年)
- 14日(土) 資源回収(予備日21日)
- 16日(月) 学校集金日
- 18日(水) クロスカントリー試走(1・3・5年)
委員会
- 19日(木) SC訪問、北陸新幹線出前講座(5年)
～20日(金) 修学旅行(6年:関西方面1泊2日)
- 24日(火) 避難訓練、引き渡し訓練
- 27日(金) 後期指導主事学校訪問 14:25 下校
- 11/1(水) クロスカントリー大会、学校だより発行

↓高学年は必ず書いてお家の方に見せ、提出しましょう。

＜わたしのこえ＞ 10月 ※ころがあたたかくなったこと、がんばったこと、やってみたいことなど、ぜひしょうかいしてね。

ねん

なまえ：

＜保護者の声＞ ～9月号返信より～



◇子供たちは、暑さと闘いながらも素晴らしい2学期のスタートを切りました。特に体育大会を通して、「気づき、考え、実行する」姿を体現し、全力で自分の役割や責任を果たすことで素晴らしい成長と団結を見せてくれました。感動をありがとう。支えて下さる保護者の皆様、導かれる先生方、それぞれ、子供たち一人一人のことを本当によく見て、よく考えて、その子供に合った最善の対応をさせていただいていること、感謝の思いで一杯です。◇10月は、陸上記録会、芸術鑑賞①、資源回収、修学旅行、避難・引き渡し訓練、市教委学校訪問等、大切な行事が目白押しです。子供たちが安心して積極的に活躍できるよう、環境を整えながら温かく見守っていきましょう。

【 低学年（1～3年） 】

- * 休みが明けて、学校イヤイヤを言うかと思ったけど頑張ってるので、昨年と比べて成長したなと感じます。
- * 久しぶりの学校、とても嬉しそうに行っています。
- * 夏休み明け、まだまだ暑い中、体育大会の練習では様々な熱中症対策を取り入れて下さってありがとうございます。子供たちも先生方も、お疲れ様でした！
- * 暑い中、運動会の練習をがんばっているようで、9日の当日がとても楽しみです。
- * 1年前の保育園の運動会では、我が子が年長児でたくましく見えたのに、1年生になると、上級生に囲まれて小さく見え、一生懸命な姿が可愛らしかったです。それでも、10日位で色々なことを覚えてきて、さすが小学生だなーと、感心しました！
- * 姉妹そろっての体育大会は今年で最後なので何だか寂しいですが、全力で二人を応援したいと思います！！



【 高学年（4～6年） 】

- * 気づき、考え、実行していける人になる為に、子供たちに何を伝えていったらいいのか考えさせられる内容でした。自分は、親として、子供の見本となれる部分は全く自信ありませんが、心優しく、周囲のことも自分のことも大切にしていける大人になれるよう、伝えていってあげることが出来るといいなと思います。
- * 藤森先生、お帰りなさい♡またお会いできて嬉しいです。
- * 早寝、早起き、計画性のある宿題、夏休み、しっかり取り組めたと思います。
- * 自然教室お世話になり、とても印象深い体験だったみたいです。
- * 2学期が始まると共に体調を崩してしまい、しばらく休んでいる間、オンライン授業でパソコンから聞こえてくる子供たちの声に、私が元気をもらいました。
- * 体育大会に向け、熱中症予防等の対策の工夫をして下さり、ありがとうございます。
- * いつもありがとうございます。先生方に感謝です。体育大会楽しみにしています。

.....きりとせん.....
＜保護者の声＞ 10月 ※感想やご意見、ご要望など、ぜひお書きの上、ご提出ください。（一部紹介させていただきます。）

年 保護者氏名：

- * 2学期が始まり、さっそく体育大会！！次のリーダーとして、6年生のかっこいい姿を追いかけて欲しいです。
- * 家でも体育大会のダンスやリコーダーの練習をしていました。9月は陸上の練習もあるので、結果につながるといいですね。
- * 家でも応援のダンスを練習しています。楽しい体育大会になるといいですね。
- * 最後の体育大会に向けて練習をがんばっているようで、本番、楽しみです。
- * 2学期が始まり、体育大会ももうすぐですね。まだまだ暑さも続くので、しっかり睡眠を取らせてあげて、本番に備えたいと思います。



- * 9月に行われる体育大会ですが、9月に入っても激しい暑さなので、練習や当日の熱中症も気になりますし、毎年、二中の体育祭とも日が被ってしまい、見に行けずにいるので、もう少し過ごしやすいうら、6月くらいの体育大会でもいいのではないかと思います。9月は台風も気にしなくてははいけませんし…。

■体育大会、「何のため、誰のために行うのか」という目的だけは見失わないように、今年度中にPTA三役の方々のご意見を伺いながら、時期や内容・方法について、見直しを含めて検討いたします。

- * いつも色々ご紹介いただきありがとうございます。もう少し字を大きく、写真&イラストをつけていただくと、低学年の子ももっと読みやすくなるのでは…と思います。ご検討くださると嬉しいです。

■本誌は、保護者の皆様を主対象、高学年児童を準対象に執筆・編集しており、低学年に読みやすい文章・分かりやすい内容・親しみやすい構成・ルビ打ちといったユニバーサルデザインにはしていません。また、本誌は毎日更新で写真中心のブログと差別化を図り、毎月1回、自分・友達・家族・学校・地域について共に考えられるよう双方向性のある誌面を大切にしており、校長の考えと教職員・保護者・子供の「声」をできる限りたくさん掲載して多様な気づきを促そうとして情報を詰め込んでいます。電子版で配信せずに紙媒体（A3表裏1枚）で配付しているのは、送受信の手軽さ故に読んだり書いたりする行為が素通りしてしまわないことと、高学年の児童が直接目を通して保護者の方に手渡し、家族で話題を共有したり「わたしのこえ」を必ず書いて担任の先生に届けたりする機会を大切にしてほしいからです。低学年のお子様には、保護者の皆様（高学年の兄弟姉妹）から、読んだ内容をかみ砕いて伝えてほしいですし、大切にしたい価値や感じ取った思いをご家庭の中で共有してもらえれば幸いです。